

ellipse

[エリプス]

TOPICS

お茶の水女子大学附属小学校 創立 140 周年

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。

REPORT

事業報告(共催講演会)
桜蔭会群馬支部講演会
「ことばは子どもの未来を拓く
～早期英語教育の是非をめぐって～」
(講師: 内田 伸子 氏)
夢のつばさ♥プロジェクトニュース

INFORMATION

お茶の水女子大学イベント情報
事務局よりお知らせ



特定非営利活動法人
お茶の水学術事業会

お茶の水女子大学附属小学校 創立 140 周年



明治時代の東京女子高等師範学校附属小学校の卒業生と教職員（明治 45 年 3 月 29 日）



関東大震災の翌年（大正 13 年）に建設された御茶ノ水の仮校舎（卒業記念写真帖「Memory lane of Better days」（昭和 10 年 3 月、文科）より）。大塚校舎への移転は、東京女子高等師範学校および附属幼稚園は昭和 7（1932）年 12 月 28 日に、附属小学校は同 9 年 3 月 31 日に、附属高等学校は同 10 年 3 月 31 日にそれぞれ実施された。



昭和 62（1987）年に新校舎が落成するまで使用されていた校舎

お茶の水女子大学の特色の一つに、いずみナーサリー・文京区立お茶の水女子大学こども園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・大学院が一つのキャンパスにあることが挙げられます。

平成 30 年度には、その中の附属小学校が創立 140 周年を迎えました。

1. 附属小学校の沿革

東京女子師範学校が御茶ノ水の地（東京市本郷区湯島 3 丁目 24 番地）に開学したのは明治 8（1875）年。その 2 年後の明治 10 年に、生徒の授業法の実地練習のため、同じ敷地内に附属小学校を設置することが決まりました。附属練習小学校という名称で開校し、実際に授業が始められたのは、明治 11 年 9 月 20 日です。

大正 12（1923）年の関東大震災によって校舎を焼失し、しばらくは仮校舎での授業が行われていましたが、昭和 9（1934）年に現在の大塚 2 丁目の校舎に移転しました。そして、昭和 62（1987）年には新校舎が落成し、現在に至っています。

この間、呼称も「附属小学校」「附属女兒小学校」「附属国民学校」など度々変わりました。昭和 24（1949）年にお茶の水女子大学が開学すると、しばらくは「お茶の水女子大学文教育学部附属小学校」（昭和 27～54 年度）でしたが、昭和 55 年度から現在の名称となりました。

2. 附属小学校創立 140 周年記念特別展示

「お茶小 140 年のあゆみ」

平成 30（2018）年 9 月 20 日から 11 月 22 日まで、お茶の水女子大学本館 1 階の歴史資料館（121 室）には、附属小学校の所蔵品や卒業生、旧職員からの寄贈品が展示されました。表札、校旗、歴代の学校要覧、記念誌、旧第一校舎のスナップ写真と模型、卒業証書など、附属小学校の歴史を物語る様々な資料が並び、ひときわ目を引いたのは、授業で子どもたちが制作した「附属小學校の歴史繪圖」（第五・六学年、全 8 点）と「兒童服装変遷の圖」（尋常科第五学年女兒の共同作業、全 13 点）でした。

また、附属小学校の同窓会「茗鏡会」の協力により、戦時



「附属小学校の歴史絵圖」



「児童服装変遷の圖」



学童疎開の記録資料には「ご自由にお手に取ってご覧ください。」とのメッセージが添えられていた。



お茶の水女子大学附属小学校 140 周年記念誌

中の学童疎開にまつわる様々な資料を紹介するコーナーも設けられました。

附属小学校（当時は東京女子高等師範学校附属国民学校）では、昭和 19 年 8 月から昭和 21 年 3 月にかけて、約 600 日間にわたり集団疎開が行われました（昭和 19 年 8 月～昭和 20 年 3 月は現在も学校の農園として使われている萩山、同年 4 月～昭和 21 年 3 月は富山県福光町）。

終戦から 40 年を経た昭和 60（1985）年に、卒業生が福光町を訪問したことがきっかけで「お茶の水学童疎開の会」が発足し、疎開中に児童が書いていた絵日記や家族との通信を収集するとともに、先生・親・受け入れ側の方達への聞き取りやアンケート調査を行い、疎開の記録をまとめました。これらは、学校教育の歴史に残る学童疎開のことを戦争を知らない世代に伝える貴重な資料として高く評価されています。

※ 疎開資料の管理・普及活動は「平和祈念プロジェクト 21」が行ってきましたが、メンバーが高齢になったことから、本年を以って活動を停止することになりました。その後、資料は大学附属図書館と歴史資料館に保存されます。

3. 附属小学校の記念行事

附属小学校では、140 周年という節目を「歴史を振り返り、子どもたちの教育を一層充実させていく機会」と位置づけ、年間を通してフォトコンテスト、記念誌『お茶の水児童教育研究会の今昔』の発行など、様々な記念事業・行事が行われました。その一つが、9 月 20 日に開催された 140 周年記念シンポジウム【「子どもから」の伝統が拓く明日の教育—市民性の育成と新教科「てつがく」の挑戦—】です。

附属小学校は、平成 27 年度より文部科学省研究開発指定

お茶の水女子大学附属小学校
140 周年記念事業実行委員会

**とっておきのお茶小風景を、
140 周年記念絵はがきに！**

**140 周年記念絵はがきのための
フォトコンテストのご案内**

140 周年記念事業の一環として、四半折々の附属小学校内外の風景写真を募集し、選ばれた写真を用いて記念絵はがきを作成するため、フォトコンテストを行います。
また、絵はがきに添えるお茶小風景のクリアファイルも作成する予定です。
下記要項をよくお読みになって奮ってご応募ください。よろしくお願ひいたします。

作品募集期間：平成30年6月26日(火)～7月13日(金)
応募締切：9月上旬（入賞には、夏休み中にメールでお知らせします）

（フォトコンテスト応募要領）

- ◎募集作品：お茶小にかかわる四季折々の学校内外の風景写真作品
- ◎募集期間：平成30年6月26日(火)～7月13日(金) <必着>
- ◎応募資格：本校児童・保護者（かがみ会会員）、教職員・茗鏡会会員
- ◎応募方法：
 - ☆1作品につき2枚、同じものを縦横サイズでプリントし、両方の裏面に「応募者氏名・本校との関係（ex.〇年〇組児童の保護者）・連絡先メールアドレス」を書いてください。
 - ☆応募用紙（別紙）に必要事項を記入し、作品とともに提出してください。
 - ☆作品のデータをCD-ROM、SDカード、USBメモリなどの記録媒体に入れ、作品と一緒に提出します。一人2点（＝2作品）まで応募できます。
 - ☆作品は、選定の発表を1枚にまとめた後、文字を入れるなど、写真を複製、加工したもので構いません。また、必ずしも写真撮影にて撮影した写真でなくても応募できます。
 - ☆応募作品（1点につき2枚）と応募用紙、データを封筒に入れて、「140周年フォトコンテスト応募作品在中」と添書きの上、学童担当教員が小学校事務室に提出をお願いします。または、実行委員会宛に郵送してください。
 - ★郵送の場合の送付先：〒112-8610 文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学附属小学校 140周年記念事業実行委員会 宛

※応募作品（データ含む）は返却しません。データは必ずバックアップを取っておいでください。
※応募写真の版權は、お茶の水女子大学附属小学校に帰属するものとします。

（フォトコンテストの賞と表彰）

- ◎入選（写真を絵はがきに使用する作品）
賞状：採用作品をアクリルボード印刷したパネル
絵はがき3セット＋クリアファイル3枚
※140周年記念行事の中で紹介・表彰します。
- ◎佳作（写真をクリアファイルに使用する作品）
賞状：絵はがき3セット＋クリアファイル3枚

◎加賞：応募作品を作品集としてまとめた冊子1冊（予定）

**応募作品の
校内パネル展示を
計画中！**

児童、保護者、教職員、茗鏡会会員を対象として、附属小学校内外の風景写真のコンテストを行い、記念絵はがき、クリアファイルを作成した。

を受け、「教育課程全体で、人間性・道徳性と思考力を関連づけて育む研究開発」という開発課題のもと、新教科「てつがく」の新設を中心とした教育課程の編成や授業実践に取り組んできました。平成 30 年度はその最終年度にあたることから、創立 140 周年記念日に、附属小学校の長年にわたる研究活動の今日的価値を捉えつつ新教科「てつがく」の意義や可能性を検討するシンポジウムが企画されました。

初めに低学年、4 年生、6 年生の「てつがく」の授業で行われている「サークル対話」の様子がビデオ上映され、続いてシンポジスト 3 名からの提案がありました。教育哲学を専門とする小玉重夫氏は「価値の注入から価値の越境へ」、教育心理学、教育方法を専門とする奈須正裕氏は「今、日本の教育課程に「てつがく」を位置づける意味」、高校で哲学対話に取り組んでいる神戸和佳子氏は実践者の立場から「なぜ、「てつがく」すると道徳性が育まれるのか？」をテーマにお話をされました。その後、池田全之 附属小学校長の進行により行われたディスカッションでは、ほぼ満席のフロアから多数の質問が寄せられ、「てつがく」と「道徳」の違い、新教科の果たす役割、実践方法などについて、議論が深められました。

【登壇者とプロフィール】

● シンポジスト

小玉重夫（東京大学大学院教授）

アメリカ教育思想、戦後日本の教育思想史。シティズンシップ教育をはじめ、教育改革の筋道を追究する。

奈須 正裕（上智大学教授）

中教審の教育課程部会委員として、新学習指導要領の作成において重要な役割を果たす。

神戸 和佳子（東洋大学京北中学高等学校、お茶の水女子大学附属高校非常勤講師）

専門は教育哲学。東京大学大学院博士課程で研究する傍ら、中高の学校現場で、哲学対話を取り入れた授業を行っている。

● コーディネーター

池田全之（お茶の水女子大学教授／附属小学校長）

専門は教育哲学。ドイツ教育思想。平成 27 年度より附属小学校長を併任。儀式的行事では哲学者を話題に校長講話を行う。

4. 学外に向けての情報発信

－ NPO 法人お茶の水児童教育研究会

附属小学校は、平成 16（2004）年に、「初等教育の理論や実践の調査・研究を、協同研究を交えながら進めることで、我が国の初等教育の改善・進歩に寄与すること」を目的とす

る NPO 法人「お茶の水児童教育研究会」を立ち上げ、学校の枠組みを超えて、情報を発信し、交流をはかる活動も積極的に進めています。

毎年テーマを決めて、小学校とお茶の水児童教育研究会が共同主催する「教育実際指導研究会」には、日本全国から初等教育に携わる方、関心のある方々が多数参加されます。今年の 2 月 21 日・22 日に開催された第 81 回教育実際指導研究会のテーマは、「学びをひらくーともに “てつがくする” 子どもと教師ー」でした。

お茶の水児童教育研究会は、明治から昭和の初期にかけて附属小学校が発行していた教育雑誌「児童教育」を復刊し、年 1 回発行するとともに、教育実際指導研究会の発表要項や研究書籍の出版事業も行っています。

この 2 月には、新教科「てつがく」にかかわる 4 年間の研究成果をまとめた『「てつがく」の挑戦』（東洋館出版社）を刊行しました。本書には、140 周年記念シンポジウムの記録も収載されています。

協力：お茶の水女子大学附属小学校

茗鏡会（お茶の水女子大学附属小学校同窓会）

資料提供：お茶の水女子大学、お茶の水女子大学附属小学校

NPO 法人 お茶の水児童教育研究会 出版案内

（2019 年 2 月時点）

『「てつがく」の挑戦』（2019 年、東洋館出版社）

『独りで決める、みんなで決める』（2019 年、1,000 円）

『お茶の水児童教育研究会の今昔』（2018 年、1,000 円）

『ともにつくる「ことば」の学習』（2017 年、1,000 円）

『関係づける力を育てる算数教育』（2016 年、1,000 円）

『学級の科学の創造』（2014 年、1,000 円）

『交響して学ぶ - 学習分野と創造活動でつくるまなび -』（2014 年、東洋館出版社）

教育実際指導研究会発表要項

『学びをひらくーともに “てつがくする” 子どもと教師ー 2019』（1,000 円）

『学びをひらくーともに “てつがくする” 子どもと教師ー 2018』『同ー 2017』（500 円）

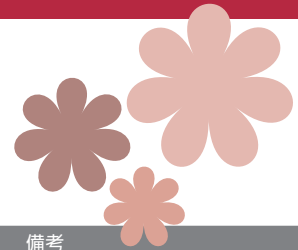
『学びをひらくー “てつがくすること” を始めた子どもと教師ー 2016』（200 円）

年刊誌『児童教育』（No. 1 ～ 19：100 円、No. 19 ～ 26：200 円、No. 28：500 円、No. 29：1,000 円）

※完売の号もあります。

上記出版物の購入をご希望の方は、電話または FAX にてお問い合わせください。

電話：03-5978-5875 / FAX：03-5978-5872



お茶の水女子大学 イベント情報

2019年3月以降に開催される各種イベントのお知らせです。

期日	イベント・講座名	参加費	備考
3月4日(月) 13:30～15:00	公開講演会 「アフガニスタン自立への展望：平和と安定に向けた日本の支援の役割」 講師：鈴木光次氏（アフガニスタン・イスラム共和国駐劄特命全権大使）	無料	【会場】お茶の水女子大学 大学本館 3階 306 教室 【主催】お茶の水女子大学グローバル協力センター 【詳細】 http://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20190304.html 【問合せ】お茶の水女子大学グローバル協力センター E-mail: info-cwed@cc.ocha.ac.jp TEL: 03-5978-5546 【申込み】info-cwed@cc.ocha.ac.jp にメールにて事前申込(当日受付有り)
3月15日(金) 15:30～17:30	グローバルリーダーシップ研究所セミナー 「組織リーダーの望ましさとはジェンダー・バイアスの関係～25社2500人の調査から男女差、階層差を探る」 野村浩子（淑徳大学人文学部教授） 川崎昌（目白大学客員研究員） コメンテーター：佐野潤子・内藤章江（グローバルリーダーシップ研究所 特任講師）	無料	【会場】お茶の水女子大学 大学本館 カンファレンスルーム 【主催】お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所 【詳細】 http://www.cf.ocha.ac.jp/igl/j/menu/event/20190315seminar.html 【問合せ】info-leader@cc.ocha.ac.jp 【申込み】 https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Leadership/20190315
3月16日(土)	お茶の水女子大学附属高等学校 2018年度SGH成果発表会 (兼 第23回 公開教育研究会)	無料	【会場】お茶の水女子大学講堂および附属高等学校 【主催】お茶の水女子大学附属高等学校 【詳細】 http://www.fz.ocha.ac.jp/fk/ 【問合せ】お茶の水女子大学附属高等学校 研究部 玉谷直子 TEL 03-5978-5856 FAX 03-5978-5858 E-mail koukaiken2018-fk@cc.ocha.ac.jp 【申込み】上記 HP の Web 申込フォームをご利用ください。
3月21日(木) 9:30～12:00	小中校の体系的指導で育てる統計的問題解決力～PPDACの授業を児童生徒とどう創るか～ 【講評&講演】 「統計的探究プロセス PPDAC の授業はこう創る」 (青山和裕：愛知教育大学准教授) 【プログラム】 附属小・中・高教諭による実践事例	無料	【会場】お茶の水女子大学本館 3階 306 教室 【共催】お茶の水女子大学附属学校園連携研究 算数・数学部会 お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所 保育・教育実践研究部門 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/iehd/ 【問合せ】人間発達教育科学研究所事務局 info-iehd@cc.ocha.ac.jp 【申込み】3月12日までに以下より事前申込(先着100名) https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Plone/iehd/20190321fuzoku
3月26日(火) 13:30～16:30	お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所 平成30年度成果報告会 【報告者(研究員・連携研究員等)】 大森美香、菅原ますみ、小玉亮子、岡田了祐、武藤世良、山岸由紀、松本聡子、山崎洋子ほか(敬称略)	無料	【会場】お茶の水女子大学本館 3階 306 教室 【主催】お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所 【後援】ヒューマンライフイノベーション研究開発機構 【詳細】 http://www-w.cf.ocha.ac.jp/iehd/ 【問合せ】人間発達教育科学研究所事務局 info-iehd@cc.ocha.ac.jp 【申込み】不要

お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 2019年度

詳細と各申込は、徽音塾ホームページ <http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/> をご覧ください。
2019年度は、従来の6講座(本講座)に加えて新たに3講座(トライアル講座 4月・7月・8月)が加わります。

【2019年度説明会・特別講義】<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/leader/kiin/2019briefing/>

- 日 時：2019年3月9日(土) 13:00～14:30 (受付開始 12:45)
- 場 所：お茶の水女子大学 大学本館 127 室
- 参加費：無料(要申込み、説明会・特別講義は男性も申込可)
- 特別講義(約60分)【新規事業開発に効く！イノベーションと企業家活動】 講師 鹿住倫世(徽音塾 実施委員 / 専修大学 商学部 教授)

【2019年度 トライアル講座 4月】

- 日 時：2019年4月20日(土) 13:30～16:40
- 「ジェンダー・エクイティをめざして」 講師 大木直子(お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)

【2019年度 春学期 5月・6月】

- 授業時間：13:30～15:00、15:10～16:40(共通)
- 5月：女性のエンパワメントとリーダーシップ
- 5/11「海外の第一線で家庭と元気を大事にしなが、リーダーとして働いた秘訣は？」(広瀬晴子)、5/18「ダイバーシティとワークライフバランスについて学ぶ」(パク・スックチャ)、5/25「これからの、女性のリーダーシップ～グローバルとローカルの視点から～」(近藤美樹)、6/1「なぜ女性は政治・経済の分野から遅れているのか？」(篠塚英子)
- 6月：リーダーシップ実践／異文化コミュニケーション
- 6/8、6/15「貴女のリーダーシップのあり方を考える、作る」(高田朝子)、6/22、6/29「多様性対応コミュニケーション」(吉田友子)

〈お問い合わせ・連絡先〉お茶大女性ビジネスリーダー育成塾：徽音塾 事務局 TEL: 03-5978-5501(水・金) E-mail: kiin-le@cc.ocha.ac.jp

◆ 事業報告 共催講演会

● 桜蔭会群馬支部講演会

「ことばは子どもの未来を拓く ～早期英語教育の是非をめぐる～」

講師 内田 伸子 氏 (お茶の水女子大学名誉教授 桜蔭会会長)



【開催日時】 2018年11月24日(土) 14:00～16:00

【会場】 ホテル・ラシーネ新前橋

【主催】 桜蔭会群馬支部

【共催】 一般社団法人桜蔭会、NPO法人お茶の水学術事業会

【参加費】 無料

【参加人数】 約95名

東京オリンピックの2020年実施を控え英語学習熱が高まるなか、群馬支部では、本当に子どものためになる語学教育のあり方について、内田伸子先生(当県のご出身でもいらっしゃいます)をお迎えして、同窓生・教育関係者・一般の方々も交えた幅広い交流の場を持ちたいとの願いから当講演会を企画させていただきました。

ご講演は、「ここでの「ことば」は発声を使うことばです」とのお話から始まり、まず、「人はパンのみにて生きるのではない。想像力によって生きる力が与えられる。」というドイツの強制収容所を生き延びたフランクルのことばが紹介されました。現実の厳しさを乗り越えるためには内面的な想像力が大切であり、想像力の発達のためには、五官(目・耳・舌・鼻・皮膚)を使った体験が大切であるとのこと。生後10ヶ月頃に始まる「見立て遊び」は頭の中にイメージが誕生したことの表れであり、そこから記憶して思い出せるようになり、やがて「モノは見えなくなっても存在する」という認識に至る神経学的発達過程について説明してくださいました。「見えない未来を思い描く素材は経験(五官を使った体験と疑似体験)」であり、「思い出される経験は断片的なので、目の前の出来事から連想される断片的な経験を複合したり、脈絡をつけるなどの加工作用がおこること」が、「創造」の源になるとのことです。

子どもは、3歳頃に母語の文法を獲得し、5歳後半頃に時間的展開を語る力(談話文法)を獲得して「WHY(なぜ)」質問をし始めます。

日本語と英語では談話スタイルが異なり、日本語(韓国語などウラル・アルタイル語系)を母語とする幼児が、「男の子と犬がベッドで眠っていた。そしてカエルがこっそり逃げ出した。」(時系列因果)と説明する絵を、英・独・仏語(印・欧語系)を母語とする幼児は「カエルがこっそり逃げ出した。

どうしてかという、男の子と犬が眠りこけていて、音に気がつかなかったから」(結果先行因果律)と説明します。大学院生を被験者にした会話実験では、時系列因果による会話は「相手の発話を待つ」スタイルであり、「相手配慮関係調整型」と言え、対話の後で意見が変わる。一方、結果先行因果律による会話は「自己主張する」スタイルであり、「自己主張完結型」と言え、討論(Debate)の後、意見が変わったら負けとなる、という特徴がみられたそうです。内田先生は「日本語は人を柔らかくする力を持っているのではないかと述べておられました。

日本語も英語も、論理的に分析し、類推・比較してまとめる抽象的思考力や文章構造・文章の流れをつかむメタ言語能力は深層では共通(Cumminsの研究)であり、海外に語学留学した事例や、日本からカナダに移住した子どもの10年間の追跡調査からは、幼児期の母語習得の大切さが明らかになったとのことでした。

これらの研究に基づく「長期的視点に立つことばのカリキュラム」についての内田先生のご提言は、「胎児期(胎児もことばを聴いている)・乳幼児期～児童期までは母語の土台をしっかりと築く。」「小学校では、①国語、算数、科学教育、食育に力を注ぎ母語の土台をしっかりと耕す。②英語活動と英語学習は国際理解教育とし、地球市民意識(肌の色・言語に優劣なし)を育てる。」「中学・高校・大学にかけては、大人という長期的視点に立ち、学習者のニーズにあわせた英語教育が持続的に提供できるシステムをつくる。」ということでした。

英語教育に関する情報が氾濫する中で迷う方も多いとみえ、参加者の中には、お子さんを連れだご夫婦の姿もありました。予定時間を大幅に超えての終了となりましたが、その後さらに、先生を囲んで熱心に話をされる方もいらっしやり、関心の高さが窺われました。

映像や子どもの詩の朗読、音楽等を伴った実証的なご講演は、多くの方から「大変役に立った」との評価をいただきましたので、当企画の目的は果たされたように考えております。

(桜蔭会群馬支部長 飯島久香)

夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

2018年冬キャンプ

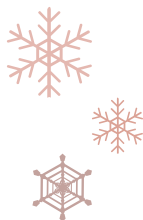
- 【実施期間】 2018年12月22日～25日
- 【開催地】 (株)ブリヂストン保養所 奥多摩園 (青梅市)
- 【参加内訳】 小学生14名、中学生10名、高校生6名、専門学校／短大生3名、大学生ボランティアスタッフ60名(入替り有、OB/OG含む)、社会人スタッフ／協力者17名(看護師含む)

【主な内容】

12月22日	開会式、アイスブレイクゲーム	受験生企画
12月23日	朝の勉強会、ピタゴラスイッチ制作、音楽会、クリスマス会、中高生プロジェクト	
12月24日	朝の勉強会、ピタゴラスイッチ制作と発表、20歳プロジェクト、中高生プロジェクト	
12月25日	閉会式、写真スライドショー、夢のつばさスタディ応援メッセージ	

今回の冬のクリスマスキャンプは、被災の子どもがこれまでの最高の34名(社会人1名を含む)参加しました。学生ボランティアやOB/OGの社会人も大勢駆け付け、とても賑やかな3泊4日を過ごすことができました。

恒例の音楽会は、マリンバの岩崎りえさん、トロンボーンの若田典子さん、ジャズピアノの森内麗香さんの3人の演奏が素晴らしく、とても盛り上がりました。音楽会の最後はいつものように全員が肩を組んで大きな輪になり、お三方の



伴奏で「翼をください」を合唱しました。そしてサンタさんが登場し、子どもたちはプレゼントをいただいて、高揚した面持ちをみせていました。音楽家の皆様も、いつにない経験だったと大変感激され、次の夏にも演奏においでくださることが決まりました。



キャンプを通して、全員でテレビ番組のピタゴラスイッチ風のからくり工作の制作に取り組みました。子どもの中には、これまでにない集中力をみせる子も



あり、みなとても楽しんでいました。東京電機大学の岩城和哉教授がアドバイスくださり、9グループに分かれた制作物の仕掛けが全てつながれば、電飾が点灯するというラストに向けて、一生懸命取り組みました。

高校受験を控えた子も増え、夢のつばさスタディという受



験生の勉強時間も設けています。中高生が互いに語り合う企画や20歳を迎えた参加者を祝う企画もあり、子どもたちの成長に感慨を新たにしましたが、最後になりました

が、いつも夢のつばさの活動を温かく支えてくださる皆様方に、心より御礼申し上げます。引き続きご支援をよろしくお願いたします。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄附のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※夢のつばさプロジェクトの専用口座です。

ご寄附いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

※恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先：事務担当 滝澤公子 TEL&FAX：03-5978-5362 E-mail：tsubasa@npo-ochanomizu.org

2019年度 共催講演会のご案内桜蔭会千葉支部公益事業講演会 共催：お茶の水学術事業会
『これから女子の生きる道』

「ジェンダーギャップ指数」世界 149 か国中 110 位*
 (世界経済フォーラム)、「ガラスの天井ランキング」
 世界 29 か国中 28 位* (英エコノミスト誌) の日本。

様々な問題を抱える複雑な現代社会を、これから女子が生きていくには、どのような知恵と行動が必要なのだろうか。「あなたたちを待っているのはどんな社会か？」を上野氏が語る。

(※いずれも2018年公表のデータ)

【講師】上野千鶴子氏

東京大学名誉教授、NPO ウィメンズアクションネットワーク(WAN) 理事長

【日時】2019年5月12日(日) 14:00～16:00

【会場】国際交流留学生プラザ併設の同窓会 commons4 階

【定員】100名(桜蔭会千葉支部会員を含む)

【お申込み】以下①～⑤を必ず記入のうえ、ouinkai.chiba@jcom.zaq.ne.jp まで(先着順)

①氏名、②郵便番号・住所、③Eメールアドレス、④連絡のつく電話番号、⑤所属または職業(桜蔭会会員の場合は卒年科も)

【お問合せ】桜蔭会千葉支部 ouinkai.chiba@jcom.zaq.ne.jp

2019年度 共催講演会・助成金事業の募集について

お茶の水学術事業会は、定款に定める「教育・研究活動に関する事業」の一つとして以下の事業を行っています。

1. 講演等の共催事業

広く一般に向けた参加予定人数が50名以上の講演会を対象とし、講師謝礼金の助成(上限3万円)、講師交通費(実費)の支給、広報協力等を行う。

2. 学術・調査・研究・教育等の活動運営支援事業(助成金の支給)

- 【対象】(1)学術・調査・研究・教育等の活動
 (2)学術関連等の出版事業
 (3)国内及び海外におけるボランティア活動
 (4)国際協力研究・教育支援事業
 (5)保育及び子どもの健全育成のための活動

【助成金額】事業費の2分の1以内とし、1件につき10万円まで

● 2019年度 共催講演会・助成金事業を募集します。

【対象となる事業期間】2019年4月1日～2020年3月31日

【申請受付期間】2019年4月1日～5月31日(第二次)

※その後、一括審査を行います。

【詳細】お茶の水学術事業会 HP「共催・助成金」をご覧ください。

<https://www.npo-ochanomizu.org/kyousai.html>

【お問合せ】お茶の水学術事業会事務局

Email: info@npo-ochanomizu.org TEL: 03-5976-1478

出版のご案内 ● お茶の水ブックレット11「大村智博士講演録
私の半生と出会った女性たち」

近日刊行予定!

お茶の水ブックレットシリーズの新刊は、2018年5月に開催された大村智博士(北里大学 特別栄誉教授)の講演会(主催:桜蔭会山梨支部、共催:お茶の水学術事業会)の記録です。 500円(本体価格)

〈刊行によせて〉

お茶の水学術事業会 理事長 平野 由紀子

何億という人々を救う薬の開発により、ノーベル生理学・医学賞を授けられた大村智氏の講演「私の半生と出会った女性たち」は、御自身の研究生生活を語る中で、幼少期の母様、おば様の影響、大切な奥様の支え、また、研究の道で出会った女性たちに加え、女流美術家の方々が登場し、聴衆に深い感銘を与えるものであった。その女性たち一人一人が、自分の責任を果たす生き方をしていること、そのような女性の才能と努力に敬意を払い、公平な評価を大村先生が与えておられることに、聞き手は深い感動を覚えたと思う。

企画した桜蔭会山梨支部は、会場に入りきれなかった人々に感動を分かちたいと冊子作成を計画した。お茶の水学術事業会は、大学と社会を結ぶNPOとして、子どもの教育をはじめ、女性の成長にかかわることに広く目を向け活動しており、この度この講演記録をブックレットとして広く世に出すこととした。

公刊を快諾してくださった大村先生、桜蔭会山梨支部に厚く御礼申し上げます。

編集後記

「平成最後の」というフレーズが増えてきました。今回の「ellipse」もその一つです。次号の表紙に記される元号が気になる一方で、創立140周年を迎えた附属小学校の活動や「夢のつばさプロジェクト」の子どもたちの成長ぶりに、肝心なのは、どのように時を積み重ねていくのかなのだと思いました。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか?次号は2019年6月に2500部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1回につき20,000円。詳しくは下記までお問合わせください。

事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部 3号館 204

TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org

<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合わせの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。

お茶大ゴルフ 好評発売中!!**ご注文・お問合せは お茶の水学術事業会まで!**

TEL&FAX 03-5976-1478

E-mail: info@npo-ochanomizu.org

● 本体価格 600円 *消費税・送料が加算されます。

*会員および大学・附属学校園の卒業生、教職員など、関係者の方には割引があります。

*2018年11月より、内袋は上野風月堂の既定デザインに変更となりました。

● 6袋(計12枚)入 ● ばにら・ちよこ・いちご味



◆事務局所在地
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線
護国寺駅から徒歩8分

都バス
大塚2丁目バス停すぐ